

わたしたちと文山の 健康ものがたり

～^{みらい}未来を^{ささ}支えるカルテ～



えほん ひさやままち けんしん じぎょう れきし まな
この絵本は久山町の健診事業の歴史を学んだ
やまだしょうがっこう ねんせい かんが
山田小学校6年生が考えたものがたりです。



わたしたちと文山の 健康ものがたり

～^み未来^{らい}を支^さえるカルテ～

なつやす お ころ
夏休みも終わろうとしていた頃・・・

けん やすこ じ ゆうけんきゅう こま
健さんと康子さんは自由研究で困っていました。

じ ゆうけんきゅう
「どうしよう、自由研究。」

なつやす お
「そうだね、もうすぐ夏休み終わっちゃうのに。」

そうだん
「おばあちゃんに相談してみようかな。」

けん やすこ いっしょ す
そこで健さんと康子さんは一緒に住んでいる

そうだん
おばあちゃんに相談してみることにしました。

ぼく じ ゆうけんきゅう こま なに
「おばあちゃん、僕たち自由研究のテーマで困っているんだ、何かないかな。」

まち けんしん いっしょ い なに
「そうかい、じゃあこれから町の健診に一緒に行くかい？何かヒントがあるかもしれないよ。」

い
「うん！行くよ！」

ふたり まち けんしん い
こうして二人は、おばあちゃんの町の健診について行くことになりました。



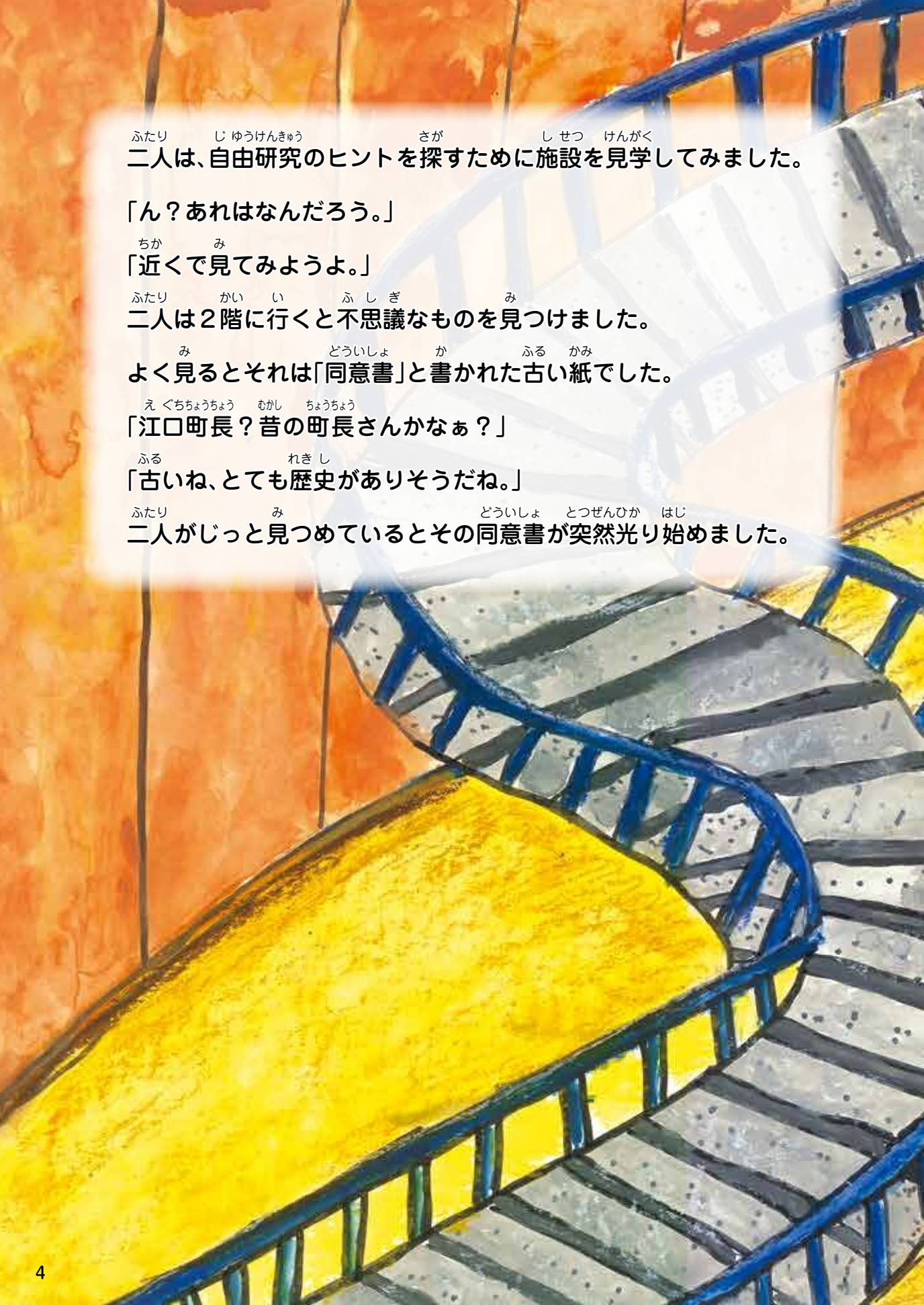


つ つ まち せいかつしゅうかんびょう よ ぼうけんしん おこな
「着いた着いた、ここで町の生活習慣病予防健診が行われているんだ。」

シーアソシー
「ヘルスC&Cセンターってところなんだ。」

けんしん お なか けんがく
「健診が終わるまで中を見学してみたらどうだい。」

たんけん
「よし！探検してみよう！」



ふたり しゅうけんきゅう さが しせつ けんがく
二人は、自由研究のヒントを探するために施設を見学してみました。

「ん？あれはなんだろう。」

ちか み
「近くで見てもようよ。」

ふたり かい い ふしぎ み
二人は2階に行くと不思議なものを見つけました。

み どういしょ か ふる かみ
よく見るとそれは「同意書」と書かれた古い紙でした。

え ぐちちようちよう むかし ちようちよう
「江口町長？昔の町長さんかなあ？」

ふる れきし
「古いね、とても歴史がありそうだね。」

ふたり み どういしょ とつぜんひか はじ
二人がじっと見つめているとその同意書が突然光り始めました。



「わー！まぶしい！」

「きゃー！^すこ^こ吸い込まれる！」

^{ふたり} ^{ふる} ^{どういしょ}
二人は古びた同意書に

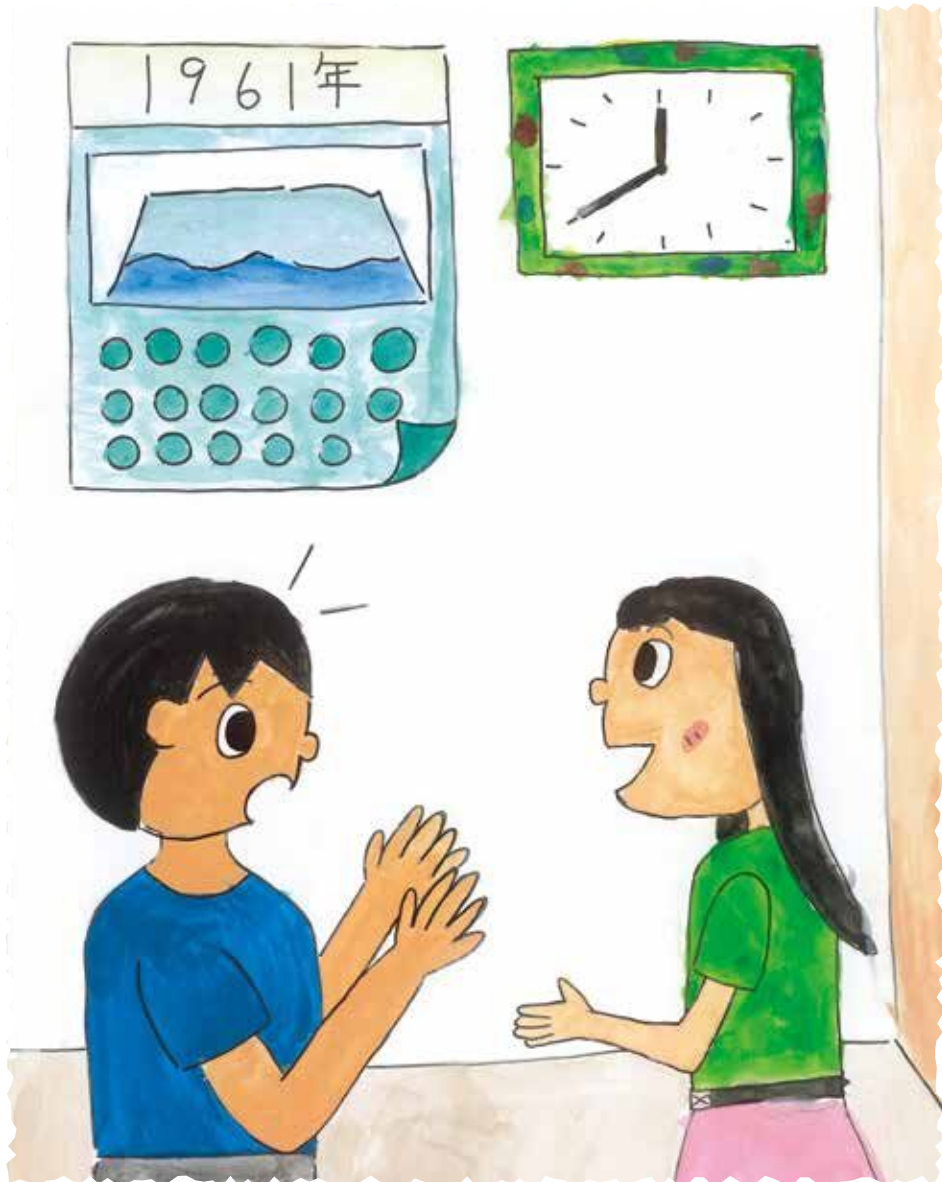
^す ^こ ^い
吸い込まれて行きました。



「ここはどこ？^{やすこ}康子さん、^{だいじょうぶ}大丈夫？」

「うん、大丈夫。ねえ！この^{だいじょうぶ}カレンダー^み見て！」

^{かべ}壁^{ねん}にかけてあるカレンダーは、1961年のものでした。



「^{ほく}僕たち、^{ねんまえ}60年前にタイムスリップしちゃったんだ！」

^{ふたり}二人は、^{かお}顔^みを見^ああわせて^{おどろ}驚きました。



なに とがり へ や こえ き
何やら隣の部屋で、声が聞こえます。

えぐちちょうちょう にほん しぼう りゆう おお のうそっちゅう
「江口町長、日本の死亡理由で多い脳卒中について、

げんいん しら まち けんしん
原因を調べるために町で健診をしていきませんか？」

かつ ききょうじゅ じだい けんこう たいせつ おも
「勝木教授、これからの時代は健康が大切だと思います。

ちやうみん けんこう まも いっしょ
町民の健康を守るため、ぜひ一緒にやりましょう！」

ふたり かいわ き けん やすこ おも はな
二人の会話を聞いていた健さんと康子さんは、思わず話しかけてしまいました。

けんしん はじ
「これから健診が始まるんですね！」

きみ え ぐちょうちょう い
「なんだね、君たちは？」江口町長が言いました。

わたし じ ゆうけんきゅう
「こんにちは、私たち自由研究で

ひさやままち と く しゅざい
久山町の取り組みを取材しているんです。」

しょうがくせい かつ き きょうじゅ かんしん ようす
「小学生なのにえらいなあ。」勝木教授も感心した様子です。

にほん のうそっちゅう おそ びょうき おお
「日本は脳卒中という恐ろしい病気が多くてな、

それをなくしていきたいんじゃ。」

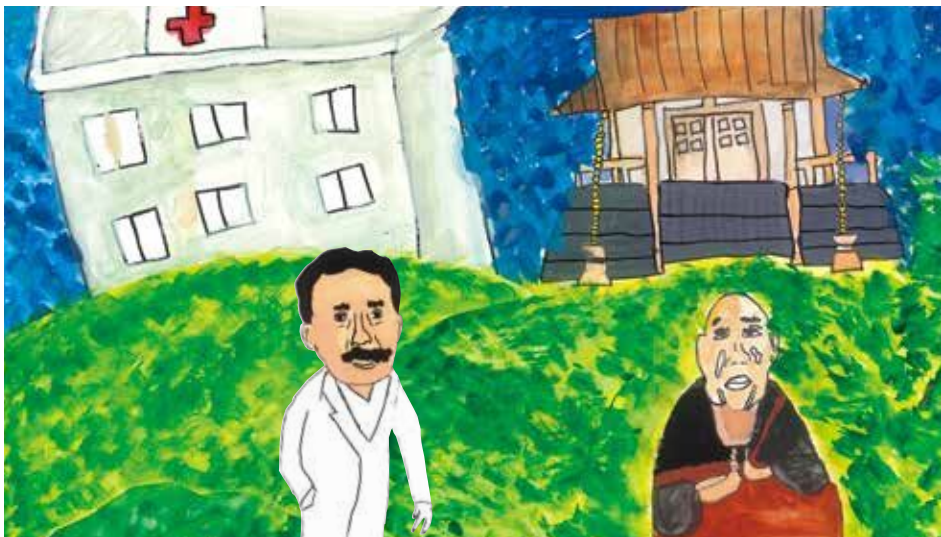
え ぐちょうちょう かつ き きょうじゅ あつ おも つた
江口町長と勝木教授の熱い思いが伝わってきました。

え ぐちょうちょう かつ き きょうじゅ けんしん う ちょうみん よ
そこで、江口町長と勝木教授は健診を受けるように町民に呼びかけました。

けん しん う
「みなさん、健診を受けて
びょう き よ ぼう
病気を予防しましょう。」

な びょうりかいぼう きょうりよく ねが どういしょ
そして、亡くなったあとの病理解剖も協力をお願いし、同意書をとったのです。

あと まち びょういん いしゃ てら じゅうしやく きょうりよく もと
その後、町の病院のお医者さんやお寺の住職さんにも協力を求めました。





えぐちちょう あつ おも どうじ まち ほけんし ちゅうしん
こうして江口町長の熱い思いのもと、当時の町の保健師が中心となり、
ちやうない ちく こうみんかん けんしん はじ
町内8つの地区の公民館などで健診が始まりました。





いま　　う　　けんしん
「今、おばあちゃんが受けている健診は、
　　むかし　　はじ
　こんな昔から始められていたんだね。」

　　つづ
「それがずっと続いているってすごいことだね。
　　じ　ゆうけんきゅう
　なんか自由研究のテーマにできそう。」

どういしょ いみ
「同意書の意味もわかったし、

そろそろおばあちゃんのところへ戻ろう。」

どういしょ まえ い もど
「同意書の前に行けば戻れるかも。」



ふたり どういしょ まえ た ひかり あらわ
二人が、同意書の前立つと、またあの光が現れ、
すこ吸い込まれていきました。

「あれ、なんか変わったけど、もどれていない。」

「カレンダーを見て！ 1969年だって！」

「少しだけ、時代が進んだってこと？」

「きっとこの時代に何か重要なことがあったのよ。」

「この時代って、もう次の小早川町長の時代だよね。」





こ ばや かわ ちようちよう たい へん
「小早川町長、大変です！」

けんしん しきんえんじよ う き
「健診の資金援助が打ち切られてしまいます。」

「なんですと！」

じゆうみん きやうりよく
「せっかく住民のみなさんにも協力していただき

じんちやう かつ ききやうじゆ こま
「順調にすすんでいるのに。勝木教授、困りましたな。」

わたし ちやうみん けんこう
「私は、町民のみなさんに健康で

あんしん
安心してすごしてもらいたい、

きも か
この気持ちは変わりません。」

ひさやままち よさん だ
「よし！久山町の予算から出して、

けんしんじぎやう つづ
健診事業を続けましょう。」





「^{たいへん}こんなに大変なことがあったんだね。」

「それでもみんなはあきらめなかったんだね。」

「きっとタイムスリップで、この時代^{じだい}に来たのも、
このことを私^{わたし}たちに教^{おし}えたかったのかもね。」

「うん、この苦^{くろ}労^{ろう}を乗^のり越^こえて、今^{いま}のおばあちゃん^{けんしん}の健^{けん}診^{しん}が続^{つづ}き、
健康^{けんこう}が守^{まも}られているんだね。」

ぼく じだい かえ
「そろそろ僕たちの時代に帰ろうか。」

かえ
「でもどうやって帰る？」

ふたり まえ あらわ
すると二人の前にトンネルが現れました。



「わあ！トンネルができた！」

こんど かえ
「今度こそ帰れるんじゃない？」

とお
「よし！通ってみよう。」

ふたり もと じだい もど ねが
二人は元の時代に戻りたいと願いながらトンネルをくぐりました。

「やったー！」

ふたり　じぶんたち　じだい　もど
二人は、自分達の時代に戻ることができました。

けんしん　ねんまえ　つづ
「健診は60年前から続いているんだね。」

え　ぐちちょうちょう　おも　ひさやままち　じゅうみん　つた
「江口町長たちの思いが久山町の住民に伝わったんだね。」

い
「よし！おばあちゃんのところに行こう。」

けんしん　お
「そろそろ健診終わっているかな。」



きゅうしゅうだいがく　せんせい　もんしんちゅう
おばあちゃんは、九州大学の先生と問診中でした。

ふたり　ま
「おやおや、二人とも待たせたね。」

けんしん　ねん　いじょう　まえ　はじ
「ううん！おばあちゃんの健診は60年以上も前から始まっているんだよ。」

し　せんせい　い
「お、よく知っているね。」先生が言いました。

だいじょうぶ
「おばあちゃんは、大丈夫ですか？」

だいじょうぶ　まいとしけんしん　き　せいかつ　き
「うん、大丈夫だよ。毎年健診に来て、ちゃんと生活に気をつけているからね。」



「おばあちゃん、^{けんしん う}健診を受けてみてどう？」

「^{わたし}私にとって、この^{けんしん}健診はありがたいねえ。その日に^ひ結果がわかって、
^{せんせい しどう}こうやって先生にご指導していただけるから^{たす}助かるよ。」

「へえー、そうなんだ。おばあちゃんがずっと^{けんこう}健康だと^{わたし}私たちが^{うれ}嬉しいよ。」



せんせい けんしん
「先生、この健診のすごさってなんですか？」

わたし じゆうけんきゅう けんしん しゅざい
「私たち、自由研究で、この健診のことを取材しているんです。」

ねん いじょう まえ けんこう けんきゅう すす せいかつしゅうかんびょう
「60年以上も前から健康について研究を進め、生活習慣病や
にんちしょう
認知症の予防につながっていることかな。」

ぜんこく くら ひさやままち びょうき はっせいりつ すく
「全国と比べても久山町はさまざまな病気の発生率が少ないという

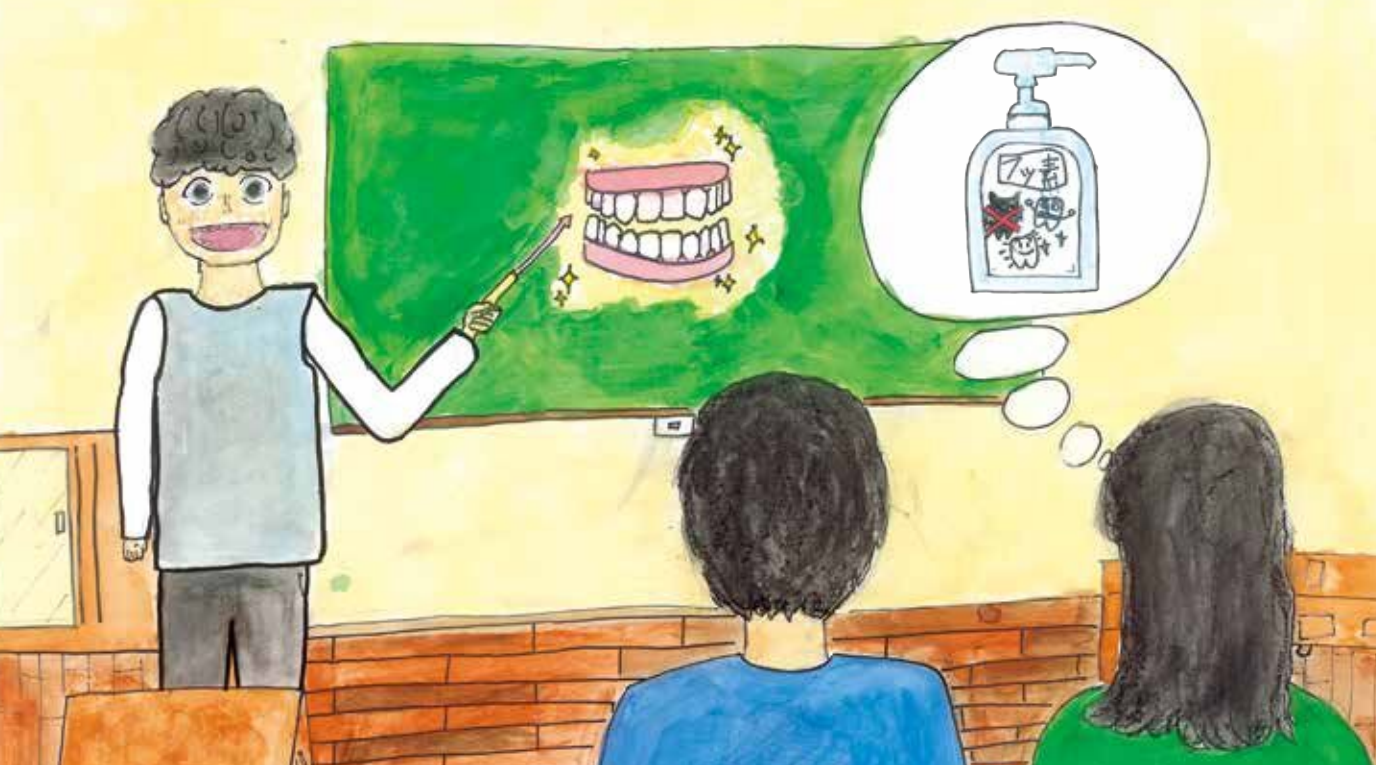
けっか で なに ひさやままち じゅうみん きょうりょく
結果が出ているんだよ。何より久山町と住民が協力しあって

と く すば おし
取り組んでいることが素晴らしいね。」と、教えてくれました。

かた き ねんかん けんしん けっか
「C&Cセンターの方に聞くと、この60年間の健診結果のカルテは

つ あ たか
積み上げると50メートルの高さにもなるそうです。」

がいせんもん おな たか き ふたり
「これはパリの凱旋門と同じ高さ聞いて二人はびっくりしました。」



けんこう と く がっこう そ せんこう
 「健康の取り組みといえば、学校でフッ素洗口をしているよね。」

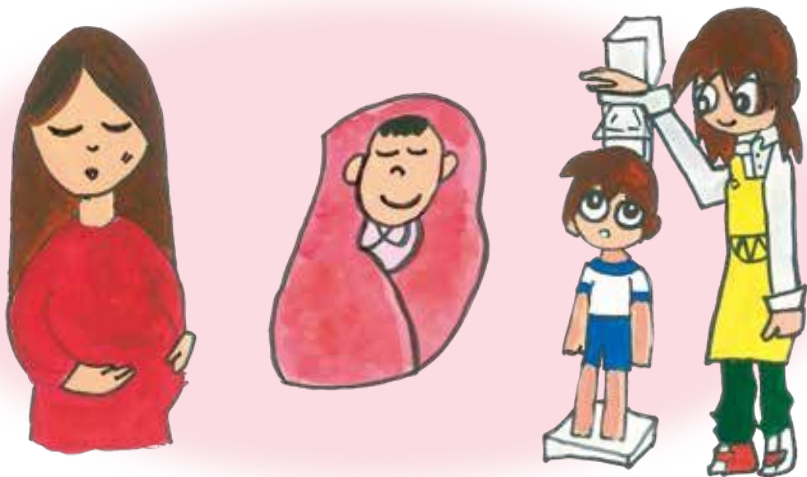
わたし は けんこう まも と く
 「そうだ！それも私たちの歯の健康を守るための取り組みだったんですね。」

せんせい きみ あか ころ
 先生は「そう、そのほかにも君たちが赤ちゃんの頃から

ひさやままち いろいろ い
 久山町は色々サポートしているんだよ。」と言いました。

ひさやままち あか なか なか とき かあ たいしょう
 久山町は、赤ちゃんがお腹の中にいる時から、お母さんを対象に

ぼ し けんこうしんだん けんこう みまも
 母子健康診断をして健康づくりを見守っているのです。



けんこう ひ けつ なに
「おばあちゃんの健康の秘訣って何かあるの？」

せんせい おし けんこう い じ かじょう
「そうだね、私は先生に教えてもらった健康維持のための10ヶ条をやっているよ！」



す
たばこは吸わない



さけ
お酒はほどほどに



バランスのとれた
しょくせいかつ ころろ
食生活を心がける



しおから しょくひん
塩辛い食品は
ひか
控えめに



てきせつ たいしゅうい じ
適切な体重維持



てき ど うんどう
適度な運動、
て あし きんりょくい じ
手足の筋力維持



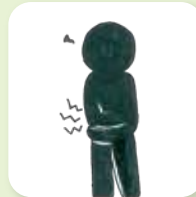
ていねい は
丁寧に歯をみがき、
ていきてき し か けんしん
定期的に歯科検診



そと で ひと がいわ
外に出て人と会話



ていきてき けんしん
定期的に健診を
う
受けて自分の
けんこうじょうたい し
健康状態を知る



からだ いじょう
身体の異常に
き
気づいたら
しゅん
すぐに受診を



きょう ひと はなし
「今日は、たくさんの人とお話できたね。」

じ ゆうけんきゅう
「うん、これで自由研究をまとめられそうだね。」

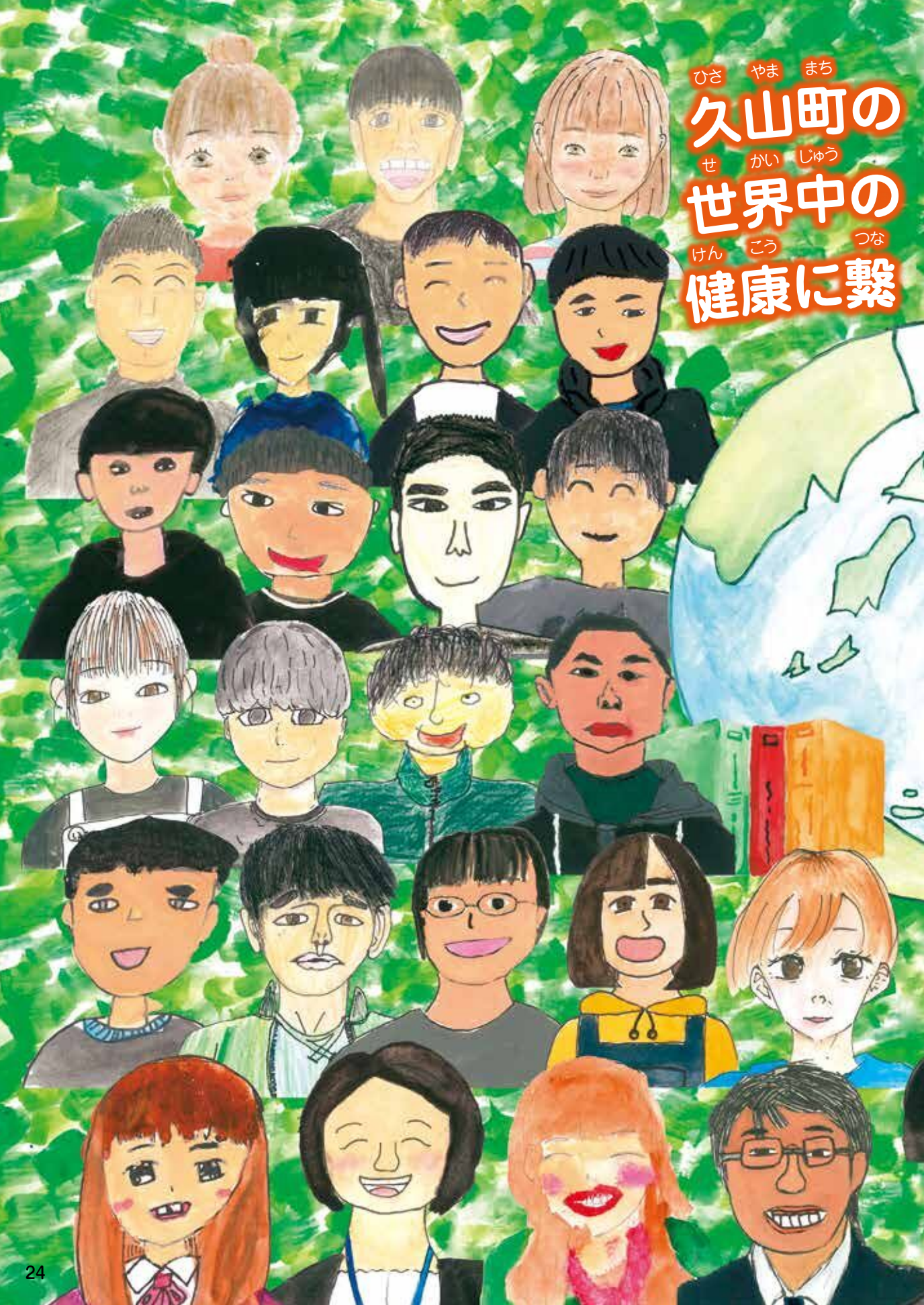
けんこう ひび せいかつしゅうかん たいせつ はみが がんば
「健康づくりは、日々の生活習慣が大切なんだね。歯磨きも頑張ろう。」

けん やすこ であ ひとびと おも ふく
こうして健さんと康子さんは出会った人々の思いも含めて

じ ゆうけんきゅう けつ い
自由研究にまとめようと決意したのです。



ひさ やま まち
久山町の
せ かい じゅう
世界中の
けん こう つな
健康に繋



けん しん
健診は
ひと ひと
人々の
がっている!





昭和36年の健診の様子

わたしたちと久山の健康ものがたり ～未来を支えるカルテ～

2023年3月 第1刷発行

制 作 久山町立山田小学校
校長 國崎 真一
教頭 三浦 竜一
担任 瀬在丸 晋二
令和4年度6年1組児童（41名）

絵 画 指 導 安河内 久美子

協 力 九州大学大学院医学研究院
衛生・公衆衛生学分野教授 二宮利治
久山町役場健康課

編 集 ・ 発 行 久山町教育委員会
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原3632番地
TEL:092-976-1111

印 刷 株式会社 九州カスタム印刷

本書の全部または一部を複写・複製・転載する際は久山町教育委員会の許可が必要です。

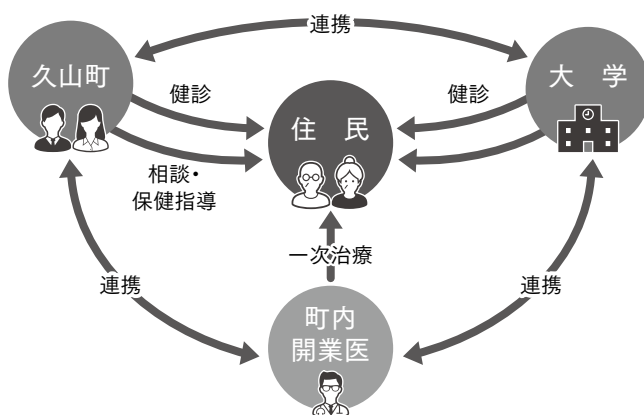
久山町研究・健診事業のはじまり

久山町の健診事業は、昭和36年4月に始まりました。

そのきっかけは、町民の健康を願う町長と、当時死因が第一位であった脳卒中の正確な診断について調査を必要としていた九州大学の「ふたつの思い」が一致したことでした。

ひさやま方式

ひさやま方式とは、住民を中心に、久山町と大学そして町内開業医が連携し、それぞれの役割を果たしながら健診事業と久山町研究を住民の健康づくりに役立てていくシステムです。久山町では昭和36年から「ひさやま方式」による健康管理を継続しています。



久山町生活習慣病予防健診の特徴

■ 行政と大学が連携

- ・久山町と九州大学が連携して実施しています。

■ 40歳以上の全住民が対象

- ・40歳以上の全住民の50%以上の方が毎年受診しています。

■ 充実した健診項目

- ・町独自の調査(糖負荷試験、歯科、眼科)を実施しています。

■ 健診当日に結果がわかる

- ・血液検査などの結果を健診当日に返却します。
- ・精密検査等の紹介状および主治医への報告書を作成します。
- ・健診当日に受診者全員に生活上のアドバイスをを行います。

■ フォローアップ体制の充実

- ・九州大学久山町研究室の医師が健康相談を行っています。

健康行政のあゆみ

昭和36年 3月	九州大学医学部第二内科勝木教授、成人病共同研究地域依頼のため来町
4月	九州大学医学部第二内科の成人病共同研究町となり、長期追跡調査開始 第1回成人病健診を各地区の公民館で実施
昭和37年	*剖検開始。米国NIHより研究費開始（昭和44年まで）
昭和39年	胃検診開始。40歳以上の住民を対象に各公民館で実施
昭和43年	子宮がん検診を婦人会と共同で開始
昭和44年	米国NIHから九大への資金中止
昭和45年	成人病健診、町費で継続決定。成人病健診再開される
昭和48年	成人病健診、内容の充実をはかる。 40歳以上の住民を対象に一斉健診実施
昭和50年	胃検診時、血液検査・血圧測定・検尿も併せて実施 「高血圧を追放する会」を発足。拡張期血圧95mmHg以上の人271人が 本人の意志で参加
昭和52年	健康課新設
昭和55年	満20歳・30歳を成人病健診の対象に追加し、満20歳は成人式時に健康度 テストとして実施
昭和56年	成人病検診20周年記念行事開催 「健康宣言」を行う
昭和57年	老人保健法・・昭和58年度から40歳以上の健康診査実施
昭和59年	九州大学歯学部予防歯科、町内開業医・校医とタイアップして地域・学校ぐ るみの「むし歯0本対策」事業を開始
昭和60年	第1回高齢者健康調査実施 中村学園大学、成人病健診時に、食事調査開始 食生活改善に取り組む
昭和63年	初めて全員に糖負荷試験を実施
平成7年	ヘルスC&Cセンターで成人病健診を開始。
平成15年	九州大学眼科・歯科と覚書締結
平成20年	九州大学呼吸器科健診開始、覚書締結 高齢者の医療の確保に関する法律・・後期高齢者医療制度の開始 特定健康診査・特定保健指導の開始
平成22年	九州大学心療内科健診開始
平成24年	高齢者健康調査にて脳ドック検診(MRI検査)実施
平成25年	生活習慣病予防健診皇太子殿下下行啓
平成26年	保健指導に「健康みらい予報」の導入
平成30年	ICTを利用した健康づくり事業の開始
令和3年	口腔保健事業振興賞受賞

*剖検とは病死した遺体を解剖して調べること。病理解剖ともいう。

